

## 補助金・交付金チェックシート(No.1)

補助金名 (交付金名)	函館市女性会議補助金	開始 年 度	昭和61年度
団 体 名	函館市女性会議		
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金交付規則		

## ○補助事業の内容および目的・効果

内 容	函館市内の女性団体の連携強化を図り、男女共同参画社会の形成を目指したまちづくりのための研修会や講演会等を行う。
目 的	(目 的) 函館市の女性団体が連絡協調し、女性団体活動の推進を通じて、女性の地位向上を図るとともに、男女共同参画社会の形成を目指した本市のまちづくりに貢献する。
・ 効 果	(効 果) 女性の自主性を高め、地域課題解決のための社会活動が推進されるとともに、会員や市民に対し研修会や講演会等を行うことにより男女共同参画社会の促進が図られる。

## ○補助事業の収支状況

(単位：千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	会 費	繰越金	計
		市	その他				
収    入	27	200	102	842	21	4	1,169
	28	200	237	199	18	20	674
	29	200	225	512	15	3	955
	30	200	250	435	21	0	906
	元	200	250	441	18	0	909
支    出	年 度	人件費	事務費	事業費	上部団体 負担金等	補助対象外 経費	計
	27	0	27	1,038	55	29	1,149
	28	0	17	542	50	62	671
	29	0	11	433	55	456	955
	30	0	18	373	15	500	906
元	0	17	377	15	500	909	

## 補助金・交付金チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	函館市女性会議補助金
----------------	------------

## ○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	函館市の女性団体活動を推進することにより、女性の自立性を高め、地位の向上を図っている。また、様々な審議会等委員として男女共同参画の視点の重要性を発信するほか、男女共同参画に関する研修会や講演会を実施するなど、市の男女共同参画の推進に貢献しており、公益性が高い。
2	必要性 (補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	あらゆる分野における男女共同参画の推進は、本市のまちづくりに必要不可欠であり、当該団体の果たす役割は大きい。
3	自主性 (自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	市の補助金のみではなく、参加者からの料金徴収など自己財源の確保に努めている。
4	有効性 (他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	男女共同参画の推進にあたっては、行政の取り組みのほか、市民の自主的な活動による普及啓発の取り組みが有効であることから補助することが望ましい。

※適・不適であっても、説明欄は必ず記載してください。

## ○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input type="checkbox"/>	
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input type="checkbox"/>	
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めている (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

※不適の場合は、説明欄に必ず記載してください。

## 補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	函館市女性会議補助金
----------------	------------

## ○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)
・はこだて・女性大会 ・研修・講習会等女性会議の補助事業等の実施状況
(達成状況)
令和元年度の状況
○はこだて女性大会
令和元年度 11月22日(金) 花びしホテル
参加者数: 38名
開催テーマ: 「自分の中の虹を知ろう」～ジェンダー・LGBT・性の多様性について
講師: 北海道教育大学教育学部函館校准教授 木村 育恵氏 NPO法人共生社会をつくるセクシュアル・マイノリティ支援全国ネットワーク代表理事, LGBT法連合会共同代表 原 ミナ汰氏
○各種審議会・委員会(50会議)への委員登用
○その他事業
渡島地域男女平等参画推進協議会研修会(16名)
はこだて・エコフェスタ「エコで防災!LEDランタンづくり」(50名)

※継続事業は、直近の実績 新規事業は、効果のみ記載してください。



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/>	市内での会員向け・市民向けの男女共同参画の講演会や勉強会など、男女共同参画社会を目指したまちづくりのための事業を実施しているほか、官民各種の審議会等の委員として、男女共同参画の視点の重要性を発信し、あらゆる分野での男女共同参画の実現に向けて日々活動している。
一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/>	
効果が疑問である <input type="checkbox"/>	
その他 <input type="checkbox"/>	

## ○今後の方向性

<input checked="" type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	→ (見直しの内容)
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> その他	
(廃止の理由)	(見直しの時期)
(廃止の時期)	(その他の内容)

## ○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	→ 次回チェック年度(予定)
令和4年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	
		令和 4 年度